

参考資料 3-③
令和 6 年度第 1 回
沖縄総合事務局
開発建設部
事業評価監視委員会

事後評価結果（原案）

○那覇空港整備事業（滑走路増設）

沖縄総合事務局開発建設部

事業名 (箇所名)	那覇空港滑走路増設事業		担当課長名	内閣府沖縄総合事務局開発建設部空港整備課 課長:水野 敦大 国土交通省大阪航空局空港部空港企画調整課 課長:馬場 猛	事業 主体	沖縄総合事務局 大阪航空局																																							
実施箇所	沖縄県那覇市、豊見城市																																												
該当基準	事業完了後、一定期間(5年以内)が経過した事業																																												
主な事業の諸元	新滑走路 2,700m×60m																																												
事業期間	事業採択	平成25年度	完了	令和元年度																																									
総事業費 (億円)	採択時	1,816	完了時	2,056																																									
目的・必要性	那覇空港は、観光客を中心に年々旅客数が増加しており、滑走路1本の空港としては国内で2番目に旅客数の多い空港である。そのため、夏場の観光シーズンや年末年始などの繁忙期を中心に、希望する便の予約が取れないことで沖縄への訪問を取り止める人もおり、沖縄県経済への影響が生じている。また、将来的には、繁忙期のみならず通年で需給が逼迫すると予想されており、現在の滑走路1本のままで航空需要に対応できない恐れがある。よって、将来的に逼迫する航空需要への適切な対応、国内外航空ネットワークにおける拠点性の発揮、観光立県沖縄の持続的発展への寄与等のために、滑走路増設による空港能力の向上を図る必要がある。																																												
費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>○整備費用: <再評価>1,993億円 ⇒ <事後評価>2,056億円</p> <p>○航空需要:2030年度需要予測(旅客数、発着回数) <再評価>2,252万人/年、18.7万回/年 ⇒ <事後評価時>(下位ケース) 2,215万人/年、17.0万回/年 (中位ケース) 2,284万人/年、18.0万回/年 (上位ケース) 2,569万人/年、20.0万回/年</p>																																												
事業全体の投資効率性	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準年度</th> <th colspan="2">令和6年度</th> <th colspan="5"></th> </tr> <tr> <th>下位</th> <th>B:総便益(億円)</th> <th>9,876</th> <th>C:総費用(億円)</th> <th>3,168</th> <th>全体B/C</th> <th>3.1</th> <th>B-C</th> <th>6,708</th> <th>EIRR (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中位</td> <td>B:総便益(億円)</td> <td>39,063</td> <td>C:総費用(億円)</td> <td>3,168</td> <td>全体B/C</td> <td>12.3</td> <td>B-C</td> <td>35,895</td> <td>EIRR (%)</td> </tr> <tr> <td>上位</td> <td>B:総便益(億円)</td> <td>62,504</td> <td>C:総費用(億円)</td> <td>3,168</td> <td>全体B/C</td> <td>19.7</td> <td>B-C</td> <td>59,336</td> <td>EIRR (%)</td> </tr> </tbody> </table>						基準年度		令和6年度							下位	B:総便益(億円)	9,876	C:総費用(億円)	3,168	全体B/C	3.1	B-C	6,708	EIRR (%)	中位	B:総便益(億円)	39,063	C:総費用(億円)	3,168	全体B/C	12.3	B-C	35,895	EIRR (%)	上位	B:総便益(億円)	62,504	C:総費用(億円)	3,168	全体B/C	19.7	B-C	59,336	EIRR (%)
基準年度		令和6年度																																											
下位	B:総便益(億円)	9,876	C:総費用(億円)	3,168	全体B/C	3.1	B-C	6,708	EIRR (%)																																				
中位	B:総便益(億円)	39,063	C:総費用(億円)	3,168	全体B/C	12.3	B-C	35,895	EIRR (%)																																				
上位	B:総便益(億円)	62,504	C:総費用(億円)	3,168	全体B/C	19.7	B-C	59,336	EIRR (%)																																				
事業の効果の発現状況	<p>○本事業の実施により、費用便益比(B/C)は、事業全体で3.1~19.7であり、本事業の有効性が確認された。</p> <p>○繁忙期における搭乗率は引き続き高い水準であるが予約の取りやすさが改善するとともに、沖縄県の入域観光客及び経済波及効果の増加に寄与した。</p> <p>○航空機トラブル等により滑走路1本が閉鎖された場合でも、もう1本の滑走路が使用できるようになったことにより、全ての滑走路が閉鎖されている時間が減少した。</p> <p>月あたり全滑走路閉鎖時間 増設前135分 → 増設後10分</p> <p>○滑走路増設後は、出発便はA滑走路、到着便はB滑走路を主に使用することになった。これに伴い滑走路の混雑が緩和し、出発便の地上走行時間が短縮した。</p> <p>出発便の平均地上走行時間 増設前 15分 → 増設後12分</p>																																												
事業実施による環境の変化	環境影響評価において、事後調査及び環境監視調査の対象となっていた陸域生物・陸域生態系、海域生物・海域生態系、水質について、供用後の環境状態が定常状態で維持されると考えられることから、令和6年度調査結果をもって事後調査及び環境監視調査を終了することが那覇空港滑走路増設事業環境監視委員会にて了承された。																																												
社会経済情勢等の変化	那覇空港の旅客数、発着回数は2020年3月の滑走路増設直後にコロナ禍に伴い落ち込んだが、直近では国内旅客の増加が顕著であり、令和5年度(2023)には過去最高となった平成30年度(2018)を上回っている。また、沖縄県への入域観光客は、令和6年度(2024)には過去最高となった平成30年度(2018)を上回る見込みであり、外国人旅客も回復傾向にある。																																												
今後の事後評価の必要性	那覇空港の利用者数は順調に増加しており、費用対効果分析の結果からも事業内容に対応した効果が発現していると判断される。また、滑走路増設に伴う環境への影響も特段確認されていないことから、今後の事後評価の必要はない。																																												
改善措置の必要性	滑走路増設後における那覇空港の利用状況はコロナ禍で一時的に落ち込んだものの、その後、回復している。空港の運用面でも滑走路閉鎖時間や地上走行時間の短縮がみられるなど効果が発現している。今後も那覇空港の利用の増加が見込まれることから、本事業は適切に実施されたと判断でき、今後の改善措置の必要はない。																																												
同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	本事業の計画・調査手法で特段の問題は生じておらず、事業評価手法についても事業を適切に評価していると考えており、現時点での見直しの必要性はない。																																												
対応方針	対応なし。																																												
対応方針理由	事業効果の発現が確認されたため。																																												
その他																																													

那覇空港滑走路増設事業

下位ケース

費用便益分析シート（割引前）

費用便益分析シート（割引後）

年度	施設供用期間	割引前						割引後										
		事業費		総費用(C)	利用者便益	供給者便益	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)	事業費		社会的割引率	総費用(C)	利用者便益	供給者便益	残存価値	純便益(B)	純便益(B-C)
		事業費	再投資費							事業費	再投資費							
2013	H25	127		127					-127			1.54	195		195		-195	
2014	H26	308		308					-308			1.48	456		456		-456	
2015	H27	321		321					-321			1.42	457		457		-457	
2016	H28	318		318					-318			1.37	436		436		-436	
2017	H29	318		318					-318			1.32	418		418		-418	
2018	H30	319		319					-319			1.27	404		404		-404	
2019	R01	193		193					-193			1.22	234		234		-234	
2020	R02	1			-1				-1			1.17				-1	-1	
2021	R03	2			-1				-1			1.12				-1	-1	
2022	R04	3			-1				-1			1.08				-1	-1	
2023	R05	4			-1				-1			1.04				-1	-1	
2024	R06	5		30	5			35	35			1.00			30	5	35	
2025	R07	6		92	6			99	99			0.96			89	6	95	
2026	R08	7		156	8			163	163			0.92			144	7	151	
2027	R09	8		220	8			228	228			0.89			195	7	203	
2028	R10	9		361	10			371	371			0.85			308	9	317	
2029	R11	10		26	26	407	11	418	392			0.82		21	21	335	9	
2030	R12	11		420	11			431	431			0.79			332	8	341	
2031	R13	12		420	11			431	431			0.76			320	8	328	
2032	R14	13		69	69	420	11	431	362			0.73		51	51	307	8	
2033	R15	14		420	11			431	431			0.70			295	7	303	
2034	R16	15		297	297	420	11	431	134			0.68		200	200	284	7	
2035	R17	16		420	11			431	431			0.65			273	7	280	
2036	R18	17		420	11			431	431			0.62			263	7	269	
2037	R19	18		420	11			431	431			0.60			253	6	259	
2038	R20	19		420	11			431	431			0.58			243	6	249	
2039	R21	20		26	26	420	11	431	405			0.56		14	14	233	6	
2040	R22	21		420	11			431	431			0.53			224	6	230	
2041	R23	22		420	11			431	431			0.51			216	5	221	
2042	R24	23		420	11			431	431			0.49			208	5	213	
2043	R25	24		420	11			431	431			0.47			200	5	205	
2044	R26	25		420	11			431	431			0.46			192	5	197	
2045	R27	26		69	69	420	11	431	362			0.44		30	30	185	5	
2046	R28	27		420	11			431	431			0.42			177	4	182	
2047	R29	28		420	11			431	431			0.41			171	4	175	
2048	R30	29		420	11			431	431			0.39			164	4	168	
2049	R31	30		322	322	420	11	431	109			0.38		121	121	158	4	
2050	R32	31		420	11			431	431			0.36			152	4	155	
2051	R33	32		420	11			431	431			0.35			146	4	150	
2052	R34	33		420	11			431	431			0.33			140	4	144	
2053	R35	34		420	11			431	431			0.32			135	3	138	
2054	R36	35		420	11			431	431			0.31			130	3	133	
2055	R37	36		420	11			431	431			0.30			125	3	128	
2056	R38	37		420	11			431	431			0.29			120	3	123	
2057	R39	38		51	51	420	11	431	381			0.27		14	14	115	3	
2058	R40	39		69	69	420	11	431	362			0.26		18	18	111	3	
2059	R41	40		45	45	420	11	431	386			0.25		11	11	107	3	
2060	R42	41		420	11			431	431			0.24			102	3	105	
2061	R43	42		420	11			431	431			0.23			99	2	101	
2062	R44	43		420	11			431	431			0.23			95	2	97	
2063	R45	44		420	11			431	431			0.22			91	2	93	
2064	R46	45		297	297	420	11	431	134			0.21		62	62	88	2	
2065	R47	46		420	11			431	431			0.20			84	2	86	
2066	R48	47		420	11			431	431			0.19			81	2	83	
2067	R49	48		420	11			431	431			0.19			78	2	80	
2068	R50	49				420	11	431	431						75	2	77	
2069	R51	50		146	146	420	11	431	285			0.17		25	25	72	2	
合計		-	1,903	1,417	3,320	18,084	470		18,554	15,233			-	2,600	568	3,168	7,941	212
合計		-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	212	212	1,723	1,796	1,771	
EIRR= 8.9% B/C= 3.1																6,708 億円	(単位:億円)	(単位:億円)

那覇空港滑走路増設事業

中位ケース

費用便益分析シート（割引前）

年度	施設供用期間	割引前					
		総費用(C)		利用者便益	供給者便益	残存価値	総便益(B)
		事業費	再投資費				
2013	H25	127		127			-127
2014	H26	308		308			-308
2015	H27	321		321			-321
2016	H28	318		318			-318
2017	H29	318		318			-318
2018	H30	319		319			-319
2019	R01	193		193			-193
2020	R02	1			-1	-1	-1
2021	R03	2			-1	-1	-1
2022	R04	3			-1	-1	-1
2023	R05	4			-1	-1	-1
2024	R06	5		30	0	31	31
2025	R07	6		221	2	223	223
2026	R08	7		354	4	358	358
2027	R09	8		497	7	504	504
2028	R10	9		717	10	728	728
2029	R11	10		26	26	846	833
2030	R12	11			935	14	949
2031	R13	12			1,014	16	1,029
2032	R14	13		69	69	1,088	1,035
2033	R15	14			1,162	18	1,180
2034	R16	15		297	297	1,211	934
2035	R17	16			1,260	20	1,280
2036	R18	17			1,308	21	1,329
2037	R19	18			1,356	22	1,377
2038	R20	19			1,404	23	1,426
2039	R21	20		26	1,450	23	1,473
2040	R22	21			1,458	24	1,482
2041	R23	22			1,502	25	1,527
2042	R24	23			1,546	25	1,571
2043	R25	24			1,588	26	1,614
2044	R26	25			1,630	27	1,657
2045	R27	26		69	69	1,671	1,629
2046	R28	27				1,709	1,738
2047	R29	28				1,747	1,776
2048	R30	29				1,783	1,813
2049	R31	30		322	322	1,819	31
2050	R32	31				1,855	31
2051	R33	32				1,890	32
2052	R34	33				1,923	33
2053	R35	34				1,956	33
2054	R36	35				1,989	34
2055	R37	36				2,020	35
2056	R38	37				2,051	35
2057	R39	38		51	51	2,080	36
2058	R40	39		69	69	2,109	37
2059	R41	40		45	45	2,136	37
2060	R42	41				2,163	38
2061	R43	42				2,189	38
2062	R44	43				2,214	39
2063	R45	44				2,239	39
2064	R46	45		297	297	2,263	40
2065	R47	46				2,286	41
2066	R48	47				2,309	41
2067	R49	48				2,331	42
2068	R50	49				2,352	42
2069	R51	50				146	146
合計						3,320	74,034
合計						1,903	1,417
						1,243	
						75,277	71,957

費用便益分析シート（割引後）

EIRR= 14.9%
B-C= 35,895 億円
B/C= 12.3

年度	施設供用期間	社会的割引率	割引後					
			総費用(C)		利用者便益	供給者便益	残存価値	総便益(B)
			事業費	再投資費				
2013	H25	1.54	195		195			-195
2014	H26	1.48	456		456			-456
2015	H27	1.42	457		457			-457
2016	H28	1.37	436		436			-436
2017	H29	1.32	418		418			-418
2018	H30	1.27	404		404			-404
2019	R01	1.22	234		234			-234
2020	R02	1	1.17				-1	-1
2021	R03	2	1.12				-1	-1
2022	R04	3	1.08				-1	-1
2023	R05	4	1.04				-1	-1
2024	R06	5	1.00				30	31
2025	R07	6	0.96				212	215
2026	R08	7	0.92				327	331
2027	R09	8	0.89				442	448
2028	R10	9	0.85				613	622
2029	R11	10	0.82				695	706
2030	R12	11	0.79				739	750
2031	R13	12	0.76				770	782
2032	R14	13	0.73				51	807
2033	R15	14	0.70				816	829
2034	R16	15	0.68				200	831
2035	R17	16	0.65				819	832
2036	R18	17	0.62				817	830
2037	R19	18	0.60				814	827
2038	R20	19	0.58				811	824
2039	R21	20	0.56				14	818
2040	R22	21	0.53				779	791
2041	R23	22	0.51				771	784
2042	R24	23	0.49				763	775
2043	R25	24	0.47				754	766
2044	R26	25	0.46				744	756
2045	R27	26	0.44				30	745
2046	R28	27	0.42				721	733
2047	R29	28	0.41				709	721
2048	R30	29	0.39				696	707
2049	R31	30	0.38				121	694
2050	R32	31	0.36				669	680
2051	R33	32	0.35				655	667
2052	R34	33	0.33				641	652
2053	R35	34	0.32				627	638
2054	R36	35	0.31				613	624
2055	R37	36	0.30				599	609
2056	R38	37	0.29				585	595
2057	R39	38	0.27				14	580
2058	R40	39	0.26				18	565
2059	R41	40	0.25				11	551
2060	R42	41	0.24				527	536
2061	R43	42	0.23				513	522
2062	R44	43	0.23				499	508
2063	R45	44	0.22				485	494
2064	R46	45	0.21				62	480
2065	R47	46	0.20				458	466
2066	R48	47	0.19				445	453
2067	R49	48	0.19				432	439
2068	R50	49	0.18				419	426
2069	R51	50	0.17				25	406
合計						2,600	568	3,168
合計						1,417	1,243	28,387
						71,957	70,277	461
						74,034	72,277	10,215
						1,903	1,727	39,063
						1,417	1,243	35,895

那霸空港滑走路増設事業

上位ケース

費用便益分析シート（割引前）

費用便益分析シート（割引後）

那覇空港滑走路増設事業

費用便益の概要

便益

項目	区分	原単位			単位当りの便益	便益(代表年)	
		単位	備考	単位		単位	単位
利用者便益	一般化費用の低減	下位	3,996	円／時	1,700	円／人	376.6
		中位	3,996		3,663		836.6
		上位	3,996		6,199		1592.4
	運航頻度の増加	下位	3,589	円／便	198	円／人	43.9
		中位	3,589		431		98.5
		上位	3,589		838		215.3
供給者便益	空港管理者の収益増加 (着陸料収入・航行援助施設利用料等)	下位	—	—	—	—	10.7
		中位	—		—		14.0
		上位	—		—		19.6

* 便益(代表年)については令和12年度(2030年度)の数値(割引前)を表示している。

費用

費用項目	土木工事費(護岸工、舗装工、排水工等)、用地造成費(埋立・盛土工)、建築工事費(管制塔等)、漁業補償費、改良・再投資費
事業の対象施設	滑走路、平行誘導路、取付誘導路、連絡誘導路、管制塔、航空保安施設等

那覇空港滑走路増設事業

(1)建設費

単位:億円

項目	累計額
土木工事	841
建築工事	51
照明工事	145
無線工事	69
気象工事	6
その他工事	20
用地造成	730
補償費	43
合 計	1,903

(2)維持補修費

単位:億円

項目	累計額
維持補修費 (供給者便益にてマイナス計上)	208

(3)改良・再投資費

単位:億円

項目	累計額
改良・再投資費	1,417

※税抜き価格